

告示	番号	33	悪性新生物
	疾病名	副腎皮質癌	

副腎皮質癌

ふくじんひしつかん

概要・定義

副腎皮質に発生する稀な悪性腫瘍である。

症状

約 70% の症例で何らかの副腎皮質機能異常を認めるが、特異的な副腎皮質ホルモンが合成されるわけではない。一つの腫瘍細胞でコルチゾール産生に必要な全てのステロイド合成酵素が発現しておらず、生物学的活性の低い前駆体ステロイドホルモンが血中に多く認められる。その中でも尿中 17-ケトステロイド (17-KS) の増加を伴う症例が多い。また、腺腫では男性化腫瘍を含めてあまり発現することのない DHEA-ST の血中増加を伴うことが多い。さらには、腺腫と比較して、複数のホルモン過剰症状を認める (Cushing 症候群+男性化や Cushing 症候群+女性化など)。

治療

外科的切除が第一選択になる。根治術が不可能な場合には、mitotane (o,p'-DDD) 単独、あるいは、etoposide、cisplatin、doxorubicin 併用による治療が試みられているが、その効果については意見が分かるところである。

抜粋元 : http://www.shouman.jp/details/1_5_59.html